

月	火	水	木	金	土	日
月火曜日は 休館日				1	2	3
4	5	6	7 陶芸教室 夜間開放	8	9	10
11	12	13	14 陶芸教室 夜間開放	15	16	17 森林療法 おさんぽの会
18	19	20	21 陶芸教室 夜間開放	22	23	24 森へ行こう
25	26	27	28 陶芸教室 夜間開放	29	30	

開館時間 9:30~17:00 ※(木)のみ~20:30

今月のご案内

~森へ行こう~

森林公園・木の名を知ろう

森林公園で樹木の葉を集め、図鑑を使って樹木の名前を調べます。「胴乱(どうらん)」という植物採集用のカバンを身につけて、植物博士の気分を味わいましょう。

【日程】9月24日(日)

【時間】9:30~12:00

【集合場所】ブナセンター

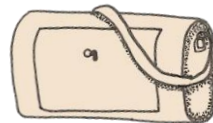
【対象】小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

【定員】15名

【料金】300円(ブナさぼ会員は無料)

【持ち物】汚れても良い服装とくつ、帽子、
のみもの、あれば図鑑

【申込み】前日17時までにブナセンターにお電話で



工房からのお知らせ

ブナセンターには3つの工房があります

木工房：開館時間中は随時利用できます

陶工房：初めての方は教室にご参加ください

食工房：主に町の農家さんが冬期間に味噌や豆腐を作ります(利用については要相談)

使用料 210円(大人1名2時間)~
※65歳以上の町民は使用料免除
※別途材料費等がかかる場合があります

夜間開放 木・陶工房が無料開放になります

毎週木曜日 18:30~20:30

材料費は
かかります

陶芸教室 初心者向けの教室です(予約制)

毎週木曜日 13:30~15:30

18:30~20:30

完成までに
3回の来館が
必要です

参加費 粘土代 600円/1kg

工房利用についてくわしくはお問合せください

くまつかないの
自然いちおし情報

ラクヨウキノコ

9月と言えば「ラクヨウ」の季節。

カラマツ(漢字で「落葉松」)の林にでるので「ラクヨウ」「ラクヨウキノコ」と呼ばれます(図鑑に載っている和名は「ハナイグチ」)。

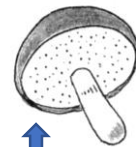
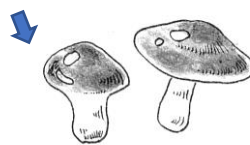
キノコの中では、特徴がわかりやすく、味噌汁やおろし和えにするとおいしいので、黒松内町民に人気のラクヨウ。ブナセンターの周りにもでるので、探してみは?

◎初めての方はブナセンターのキノコ図鑑、または実物展示で確認してください。

ラクヨウをさがすときのポイント

- ①カラマツの林 ※ラクヨウはカラマツの根に菌根を作り、栄養分を交換して共生している
- ②傘の色とぬめり
- ③傘の裏の形状。

傘の上面は明るい茶色~黄褐色でゼラチン質のぬめりがある。



イグチ科のキノコの特徴
傘の裏面はスポンジ状。
新鮮なうちは明るいレモン色。
やがて黄褐色に。

今年ブナの実は「お休み」?

昨年、歌オブナ林はブナの豊作年でした。豊作年の翌年にはよくあることですが、今年の春は花が咲きませんでした。よって今年はあまり実がつかなさそうです。



FacebookのQRコードはこちら

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1

TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440

MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>

FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>



ブナセンター30周年記念講座

今回はブナセンター講座初となる「外来種」をテーマに開催しました。自然豊かな黒松内でも、外来種は身近になってきています。講師に加藤康大さんをお招きして、外来種問題とどう向き合えばいいかを教えていただきました。

外来種 を 知 ろ う



報告



講師
加藤康大さん

NPO法人いきものいんく代表理事
自然保護管補佐として支笏洞爺国立公園の管理業務に携わる。外来生物の防除や希少種の保護などの他、地域児童への環境教育に従事。環境省を退職後、NPO法人いきものいんくを設立。主に西胆振の小中学校にて環境教育を展開。

がいらいしゅ

— 外来種ってなに？ —

人間によって、本来の生息地から別の場所へ移動させられた生きもののこと。理由があってつれて来られたものや、荷物などに紛れてきたものなどさまざま。国内由来でも、もともとの生息地以外の場所へ入ると、「国内外来種」となることがある。

— 外来種が入ってくると、 — どんな問題が起きるの？ —

外来種が①食べられたり、②エサやすみかを奪われたり、③病気になったりしてしまう。また、農作物を食べるものや、人間に対する毒・病気をもつものもある。

— どうしてつれてこられたの？ —

毛皮をとるため、釣りをするため、ハブや蚊などを退治するため、狩猟犬のトレーニングのため、観賞するため、ペットにするため、農業のため、食べるためなど…様々な理由でつれてこられた。しかし、必要がなくなると捨てられたり、想定以上に数が増えるなどで問題になっている。

— どうしたら外来種 をへらせるの？ —

①入れない②捨てない③拡げない、
そして… 外来種について学び、
周りの人に伝えていく！

ざいらいしゅ

在来種：もとからそこにいる生きもののこと。

外来種の植物探し をしました！

場所：寺ノ沢川沿い

川沿いの草地と林縁の2か所で外来種と在来種の種数を比較してみました。

	外来種	在来種
草地	16	5
林縁	11	11

草地では在来種の3倍もの外来種が見つかりました。一方、林縁では在来種の数も多くなりました。

草刈りや踏圧など人の手が多く入る草地では、外来種が侵入しやすくなるようです。あまり人の手が入らない林を残すのも外来種対策や在来種を守るための一つの手段なのではないでしょうか。

見つけたもの

外来種：フタナ、ノランジン、オオハンゴンソウ、オオアワダチソウ、ヒナギク、エゾノギンギンなど

在来種：ゲンノショウコ、エゾニュウ、キンミズヒキ、オオウバユリ、エゾノコンギク、ミツモソウ、オトギリソウなど

会場に

胆振でみられる外来種たちがやって来ました

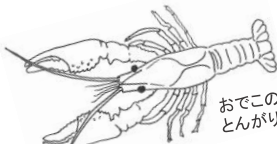
黒松内町ではまだ確認されていないものも。今後、侵入してくるかもしれません。

※特定外来生物ははく製や標本

しっぽのしましまと丸まった背中が特徴



アライグマ ※



おでこのとんがり角が鋭い三角形

町内 未確認
アメリカザリガニ



おしりの毛が白い

町内 未確認
セイヨクオオマルハナバチ ※



町内 未確認
はさみの付け根が白い
ウチダザリガニ ※



最大約15cm!

町内 未確認
マダラコウラクメクジ



北海道では道外より体の小さいものが多い

カブトムシ



甲羅に3本のスジ

クサガメ

★町内で未確認のものを発見したらブナセンターまでご連絡ください！